

科 目	英 語
出題意図 全体	高等学校までで学習する英語の語彙、文法、談話構成に関する知識を運用して、テキストを理解する能力を測定することを目的としています。主要なメッセージ、正確な情報を理解する能力、語彙・文法知識を運用する能力、理解したことをもとに類推する能力を問う構成となっています。
出題意図 1	1,000語前後で10段落程度からなる完結した英語の文章を読む問題です。問1は、各段落の主題や重要な情報を理解できたかを問う問題です。問2は、文章で示されたさまざまな見方や情報のまとめを表で示し、メッセージの流れや論理構成を含めて、その理解を問う問題です。問3は、文章中の細部にわたる情報の理解を問う問題です。全体を通して、①主要情報の理解、②細部の理解、③論理構成の理解に関する読解力を問う構成となっています。
出題意図 2	定評のある語彙使用頻度リストを参考にして、使用頻度の高い語彙の中から、基本的な語からやや難易度の高い語まで段階的に抽出して問題を作成しています。基本的な語彙知識を問うことがねらいです。与えられたダイアログの中でふさわしい単語を選ぶという形式にしています。コミュニケーションの中で単語の知識を活かすことができるかを問います。どの単語もふさわしい文脈の中で選ばれ使われるからです。
出題意図 3	英語における基本的な文法知識を問う問題です。会話の形式で空所が示され、会話の状況からふさわしい表現を選びます。この問題では、高等学校までに学習する文法の運用知識を問うことをねらいとしています。
出題意図 4	話し言葉のコミュニケーション能力を測る問題です。会話の展開を示す表現に着目しながら、会話の状況や話者の意図を理解し、一貫した内容を把握する論理的思考能力を問います。
出題意図 5	空所補充を通じて短いエッセイを完成させる問題です。英文をパラグラフの観点から理解できるかを問うとともに、受験者の論理的な読解力、文脈把握力、英文構成力を総合的に測定します。具体的には冒頭文と結論文を手がかりに、その焦点を正しく捉え、文同士の関係を理解し、適切な論理展開を選択する力が必要になります。

科 目	英 語
出題意図 6	さまざまなジャンルの短めの文章について、特定の情報を読み取る、読み取った内容に基づいて情報を整理する能力を問う問題です。文章の内容について、限られた時間であっても正確に理解する読解力を問います。

科 目	日本史
出題意図 1	旧石器～縄文時代における環境・生活・文化に関する基本事項を問う問題です。
出題意図 2	室町時代～織豊政権期における日朝関係に関する基本事項を問う問題です。
出題意図 3	明治期における外交・経済に関する基本事項を問う問題です。
出題意図 4	太平洋戦争期における政治・経済・外交・生活等に関する基本事項を問う問題です。

科 目	世界史
出題意図 全体	高校教科書の内容を確実にマスターし、世界各地域の大きな歴史の流れを理解しているか否かを問うものです。
出題意図 1	紀元前のパレスチナ地域やユダヤ人の歴史を中心に引き上げ、当時の東地中海地域の情勢やユダヤ教の成立過程、そしてそれが後世に与えた影響について出題しています。当該地域の紀元前の基礎的な知識とともに、近現代にかかわるような時代を超えた地域の理解も問うています。
出題意図 2	三十年戦争前後のヨーロッパ世界を範囲とし、そこで生じた基本的な出来事の流れを問うています。また、この頃から発展をみせたオランダにかんしては、ヨーロッパ域外への進出や文化について出題し、西欧列強の台頭につながる基礎的かつ総合的な知識を問うています。
出題意図 3	18世紀以降のインドの植民地化の過程について問う問題です。特にイギリスの植民地支配のあり方が、東インド会社を通じた間接的なものから、インド帝国として具現化するより直接的なものとなり、かつインドの「啓蒙主義的」な変革を目指すものから現地の「伝統」を維持する方向へ転換するといった変化を、確実に把握しているか否かを測るのがこの問題の狙いです。
出題意図 4	冷戦期前半のアメリカ政治・外交の推移を問う問題です。アメリカ大統領選挙を経た受験ということも勘案して、トルーマンからケネディまでの歴代大統領の動向を軸にして、この間のアメリカ政治外交に関する理解度を確かめることを意図したものです。

科 目	地 理
出題意図 1	図法に関する理解を問う。地球の大きさや緯度・経度の仕組みや各国の位置関係を地図帳や教科書の記述を理解しておくことが必要である。
出題意図 2	インドとその周辺地域を題材にして、標高の高低差を読み取ることを基本にして、大地形とプレートテクトニクスに関する基本的なことを聞いています。対象とした地域にまつわる南アジアの自然環境についても含みます。いずれも教科書では頻出の項目です。
出題意図 3	日本の国土面積の大部分を占める森林に関する基本的知識、および第二次世界大戦から現在に至る日本林業の推移についての理解を問う。地図帳と照らし合わせながら教科書の記述を正確に理解することが必要である。
出題意図 4	貿易や観光に関する基礎知識や、歴史的な貿易の発展についての理解を問うている。教科書に準拠している。また、主要国の貿易について、工業製品や輸出入額を基に読み取れるかも問うている。

科 目	政治・経済
出題意図 1	市場メカニズムに関する出題です。設問のほとんどは、高等学校の教科書に記載されている基本的な内容を問うもので、この分野の正確な知識が修得できているかを問う問題を多く出題しています。しかし、正確に理解することがおろそかになっているように感じました。教科書や資料集の解説が充実している分野ですので、正確な知識を修得してほしいところです。
出題意図 2	近年の日本社会が直面する人口減少や東京一極集中に関する問いです。地方創生のような全国的な政策における北海道地域の状況への関心も問われます。
出題意図 3	中央銀行が行う金融政策について、教科書の内容を理解しているかを問う問題です。金融政策の各操作により、市場で流通する通貨量が増加するか・減少するかを考えてもらうための出題です。マイナス金利について知っているかどうか。10年満期国債の流通価格と利回りとは、逆の関係にあることに気づいてもらう問題です。

科 目	数学（経済学部・経営学部）
出題意図 全体	思考の過程を明確にわかりやすく、かつ論理的に記述する力を重要視しているため、すべての問題の解答に記述形式を採用しています。
出題意図 1	数学Ⅰで学習する基礎的な知識の習熟度を問います。
出題意図 2	[A] 数学 A で学習する確率の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。 [B] 数学 A で学習する整数の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 3	数学Ⅰで学習する2次関数の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 4	数学Ⅱで学習する微分法、積分法の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 5	数学 B で学習する数列の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。

科 目	数学（工学部）
出題意図 全体	思考の過程を明確にわかりやすく、かつ論理的に記述する力を重要視しているため、すべての問題の解答に記述形式を採用しています。
出題意図 1	数学Ⅰで学習する基礎的な知識の習熟度を問います。
出題意図 2	数学Ⅱで学習する微分法、積分法の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 3	数学Ⅲで学習する関数の極限、微分法、積分法の基礎的な知識の習熟度を問います。
出題意図 4	数学 A で学習する確率の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 5	数学 A で学習する整数の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 6	数学 C で学習する複素数の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。



科 目	物 理
出題意図 1	エレベーターの加速度を考慮した斜面運動とばね振動を一体的に設定した問題である。非慣性系での物体の運動と力の関係を理解しているかを問うている。
出題意図 2	この問題は、直流回路における基本的な法則や概念の理解度を確認している。起電力、抵抗、電流、電圧、電力の関係を具体的な回路図を通じて確認するとともに、スイッチの操作による回路の変化や、合成抵抗の計算や電流の向き、各抵抗にかかる電圧や消費される電力に関する知識を確認している。

<p>出題意図 一</p>	<p>科学的知見が発展すれば教科書の内容も時に変わりうるという、受験生にとっても関心のあるであろうテーマで始まる文章から、著者の論理展開を正確に読み取り、理解する力を問う設問です。比較的平易な文章ですが、設問に正しく解答するには、そこで挙げられている事例、たとえば新型コロナワクチン接種を巡る肯定派・否定派双方の論拠などを正しく理解する必要があります。学問とは、そこにある不変のものを覚えるだけのものではなく、研究の進歩によって発展して変わりうるものなのだということを、大学へ進学するにあたって考えてもらいたいというのが、出題の意図です。</p>
<p>出題意図 二</p>	<p>問題文は、日本におけるヨーロッパ中世研究で代表的な研究者である池上俊一の著作『儀礼と象徴の中世』の一部をもとにしています。テキストのレベルと内容は、北海学園における一般科目の授業で使用される可能性を考慮して選択されたものです。つまり大学における基本的な学びにおいて、読みこなすことが求められる難易度だということです。人名や地名、修道院名、歴史用語などで馴染みのない語が多く登場しますが、それらを適切に区別し、文脈を正しく把握することが求められます。「ヨーロッパで中世初期に登場した三身分は、社会の実状と乖離していったにもかかわらず、なぜ数百年間保たれ、フランス革命期まで生き延びたのか」という本文全体を通底する著者の問題意識と、その問いに著者自身がどのような説明を示しているのかを読み取ることができるかを出題を、通じて測っています。</p>